

2024年度（令和6年度）実施中のこども・若者への意見聴取について

1 アンケート調査

様々な年代にアプローチするため、次のアンケート調査を実施

○実施期間 7月17日（水）～7月31日（水）

○実施方法 タブレットを活用したWebアンケート調査

対象		アンケート項目
市内公立小・義務教育学校 ※小学4年生～6年生	約3,500人/18校	<ul style="list-style-type: none"> ・福山市について（福山市がどんなまちになってほしいかなど） ・自分自身について（自分らしさがあると思うかなど） ・居場所について（ほっとできる場所や安心できる場所など） ・家族・親せき等とのかかわりについて（悩みを相談できる人がいるかなど）
市内公立中・義務教育学校 ※中学1年生～3年生	約4,000人/12校	

2 ヒアリング調査

アンケート調査に加え、個別ヒアリングを実施することで、さらに幅広いこども・若者から意見を聴取

○実施時期 7月～8月

○実施方法 グループワーク等による対面ヒアリング

対象	ヒアリングの内容
保育所・幼稚園 ※市内6施設の5歳児クラス	<ul style="list-style-type: none"> ・何をしているときが好き（楽しい）ですか ・お家の周りで気に入っているところ・好きなおところはありますか ・「いやだな」と思うことは何ですか
放課後児童クラブ ※市内6施設	[低学年] 保育所・幼稚園と同じ [高学年] <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる地域の好きなおところ・いやなおところ ・福山市がもっと良いまちになるために必要なこと （活かすべき福山市の魅力、こどもたちが住みやすくなるために必要な要素、改善すべき課題、こどもたちの意見や悩みをまちづくりに活かす方法 など）
特別支援学校	[小学生] 放課後児童クラブへのヒアリングと同じ [中学生・高校生] <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を送る身の回りの地域の好きなおところ・嫌いなおところ ・学校や施設以外で安心して過ごせる場所の有無や要望 ・福山市がもっと良いまちになるために必要なこと （活かすべき福山市の魅力、こどもたちが住みやすくなるために必要な要素、改善すべき課題、こどもたちの意見や悩みをまちづくりに活かす方法 など）
児童相談所	
児童養護施設	
フリースクール	
こども食堂	
日本語支援を受けている児童生徒	

3 今後の動き

意見聴取結果については、11月開催予定の福山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において報告